刑事系３科目の位置付け ※役割は異なるが事実認定の基本的考え方は共通

導入修習

※他の立場の考えや活動が相互に影響・相互理解が重要

	捜査	公判準備	公判
検察教官室	1. 導入講義（終局処分の考え方の基本） 2. 即日起案講評等（終局処分，検察官の心構え・検察演習問題等 3. 捜査演習（補充捜査・公判準備等） 真相解明のための捜査・適正な処分の決定	検察起案（刑事手続き小問） 検察演習問題 公判を見据えた捜査・立証準備・公判活動	
刑弁教官室	1. 刑弁演習1（捜査弁護） 有利な終局処分のための活動	2. 刑弁演習2（否認事件： 3. 刑弁演習3（量刑事件： 公判準備・最終弁論を見据えた活動（「ケース・セオリー」 身体拘束から解放させる活動	即日起案（想定弁論等）の解説・尋問等） 情状に関する弁護活動、弁論等） （説得の論拠）の確立を常に検討）
刑裁教官室	刑事問題研究（身柄の拘束処分・勾留についての検討）	1. 刑裁講義（争点整理，事実認定，量刑の基本的な考え方など） 2. 即日起案解説（審理終結後の事実認定） 3. 裁判修習に向けて（裁判所の組織，裁判官の役割など） 公判を見据えた争点・証拠の整理	判断者の視点での主張立証評価

終局処分

刑共演習基礎（公判前整理手続の実践）

想定弁論の確立

弁論

判決